

## 創立 20 周年記念式典・懇親会

平成 25 年 4 月 14 日（日）11:30、ABBY HALL（我孫子市）で生涯現役ときわ会の創立 20 周年を祝う式典が開催された（出席者 110 名）。冒頭、今成代表世話人よりこの式典に来賓としてご列席頂いた、星野我孫子市長、秋山柏市長、社会福祉法人「緑の会」滝本理事長、我孫子市民活動ネットワーク宇野代表に謝辞を述べられた。代表から本会発足の経緯、活動現況とご自身の入会動機等を紹介された。最後に代表は、ときわ会の標語である「出会い ふれあい そして ふるさと」を引用し、今後の本会の更なる発展に努力する旨、力強く決意表明された。



### 今成代表世話人の挨拶

続いて、この式典・懇親会の開催地である我孫子市の星野順一郎市長よりご祝辞を頂戴した。市長はご挨拶の中で、我孫子市の少子高齢化の現状を具体的な数値（市の高齢化率…総人口に 65 歳以上の高齢者が占める割合…は、この 4 月に東葛地域で最も高い 25.5%となった）で示されたが、我孫子市は、高齢化をポジティブに捉え、いつまでも元気に明るく暮らせる社会づくりを目指していることを強調された。その為には健康寿命の増進、即ち、心の健康、身体の健康、生きがいが最も大切で、その考えをベースとして更に地域・社会貢献に活動を広げている、ときわ会の皆さんの益々の発展をとエールを頂いた。

次に登壇された秋山浩保市長からは、ときわ会の組織運営（多様な趣味・スポーツや学習・研鑽の同志が、それぞれ楽しく活動し、それを自然な形で地域・社会貢献へ発展させる）は、日本の高齢化社会のこれからの極めて重要な組織や運営の在り方の模範となり、ときわ会の皆さんがその活動の裾野を広げることは取りも直さず、我孫子市や柏市のみならず日本社会全体の幸せに繋がると最大級の賛辞を示された。



### 秋山柏市長のご祝辞

来賓 3 人目の社会福祉法人「緑の会」（身体障害者施設）滝本二三江理事長からは、ときわ会との出会い（「緑の会」設立の 1 年後にときわ会が発足）と、当初経験の浅かった施設の職員に対すときわ会の社会経験豊かな方々からの指導のお陰で、施設を大過なく運営できたと云うお話を頂いた。

続いて、我孫子市民活動ネットワーク宇野眞理子代表からは、「緑の会」と同様、ときわ会との出会い＝不思議なご縁についてご紹介された。小島初代代表との馴れ初め（？）は、宇野女史がボランティアに関する講演を柏市中央公民館で行なった時の質問者であったこと。その出会いの十数年後、平成 18 年に発足した我孫子市民活動ネットワークの役員を我孫子市在住の中島第 4 代代表に引き受けて頂いたこともご紹介された。先駆的で多岐にわたる活動を推進されている“ときわ会”に大きな期待を寄せているとのご挨拶を頂いた。

4 人の来賓の方々からご祝辞を頂いた後、本郷谷松戸市長から頂いた祝電が披露された。

次に、「ときわ会設立 20 周年、活動の原点を考える」と題して、小島初代代表世話人が講演された。主旨は下記の通り。



### 小島初代代表世話人の講演

- ① ときわ会をこれまでバックアップ、育てて頂いた関係者皆さんに対して深謝

- ② 第1の原点…新入会者に対する深い思いやり
- ③ 第2の原点…会員一人ひとりの生きがいに繋がる活動の展開
- ④ 第3の原点…ときわ会の成熟と発展に向けた活動
- ⑤ ときわ会の「夢」…ときわ会の活動が日本、延いては海外へ広まって認知されるようになり、自前のクラブハウスを持てるようになること
- ⑥ 残念なこと？…多忙の為、ゴルフをする時間が持てないこと。

続いて、ときわ会の若手？を代表し「これからのときわ会」と題して、三浦博副代表世話人が話しをされた。主旨は下記の通り。



### 三浦副代表世話人の講演

- ① ときわ会との出会い…コーラスをしたい→フレンドリーシンガーズに入部→ときわ会へ入会
- ② ときわ会の崇高な理念を知る…ときわ会通信に掲載された「ときわ会の皆が中心になる交流・交友の輪は、私たちの住む地域を真のふるさとと呼べるような安全で住みよい町づくりに貢献できるような夢を見ている」に感銘した。
- ③ 10年後・20年後のときわ会…更なる高齢化社会に向けて、共助・支え合い・お互いに気づき合い助け合う関係をつくりあげる。
- ④ ときわ会に出来ること…(提案1) 全会員がパソコンを使って安否確認のネットワークを構築、(提案2) 年会費の繰越金の一部をときわ会ボランティア基金とし、必要とする団体や自治体に毎年寄付する。

三浦副代表世話人は「生涯現役ときわ会は永遠不滅です」の名言で締め括った。

次に功労者表彰に移り、永年ときわ会の発展のために尽くされた39名の方々へ感謝状が授与され、受章者を代表して大久保富江女史が答辞を述べた。



### 大久保女史の答辞

続いて5名の歴代代表が紹介され、代表して廣瀬章前代表世話人が簡潔に閉会の言葉を述べて式典は無事終了した。



### 5名の歴代代表世話人

休憩の間に式典の会場は懇親会のホールに模様替えし、全体行事として初めてケータリング業者を活用したビュッフェ形式のパーティーが、午後1時頃スタートした。小島初代表世話人の発声で乾杯し、暫く歓談の後に懇親会のイベントの目玉であるグランドハッピー賞(※)の抽籤に移った。5名が目出度く当選され、それぞれペアで今話題の東京スカイツリー入場料をゲットされた。県名ビンゴやジャンケンゲームが懇親会に花を添えて宴酣になり、古澤行雄(創立20周年記念PT)リーダーのオカリナ演奏をバックに「明日もあるさ」のときわ会替え歌を高らかに斉唱の後、参加者全員で記念撮影に収まった。最後に創立20周年記念PT(プロジェクトチーム)の全スタッフを古澤リーダーが改めて紹介し、盛会の裡に全て終了した。

※：創立20周年記念を盛り上げるために上記プロジェクトチームが平成24年3月から24年11月に掛けて隔月で、ときわ会に関するクイズを5回出題し、その解答者全員(不正解者含む)を対象としたダブルチャンス賞